

# ツナゲアイ プロジェクト — 支え合い、繋げ、愛 — (ご報告)

2021年12月

新潟大学

創生学部3年 真野 あずさ, 中嶋 洸喜

創生学部 准教授 澤邊 潤

## 第1回ワークショップ概要

目的：自分達が暮らす『西区』に特有の良さ（＝人柄や文化）を考えることで、無意識に感じていた身近な地域の良さを発見する

ゴール（目標）：参加者が体験した地域のヒトやコトの魅力から、西区の良さを発見しよう

開催日時：2021年10月14日（木）13時～14時30分

場所：新潟ろうきん新潟西支店 旧プラザ

参加者：10名

大学生8名（2年生2名，3年生6名）※うち2名は企画者

新潟ろうきん新潟西支店2名

（オブザーバー3名）

## 第1回ワークショップの様子



- イントロ（アイスブレイク，自己紹介）
- 趣旨説明（目的，ゴール）
- 私たちが暮らす新潟西区とは？
- 新潟ろうきんの説明



- ワーク
- 『西区』で出会った、こんなヒトこんなコト
- ① エピソードを付箋紙に書く
  - ② エピソードを貼りながら思い出を話す  
（必要に応じて質疑応答）
  - ③ 西区で生活するうえで、自分か感じた大切だと感じたことを『一言キーワード』で出して理由を述べる

## 第1回ワークショップの様子



- グループごとに内容を整理して報告  
→グループ報告を受けて、グループで感想を述べる



- ワークショップ全体のまとめ  
→全体の内容の整理  
→西区の支え合いの標語活用事業
- 第2回ワークショップへのイントロ  
→自分達にできることを考える



- クロージング，参加者での集合写真撮影
- 事後アンケート実施

# 第1回ワークショップ満足度調査概要

調査対象者	第1回ワークショップ参加者 8名
調査方法	Web方式
調査期間	2021年10月14日
調査内容	(報告書に記載)
サンプル数	8 (回収率 : 100%)

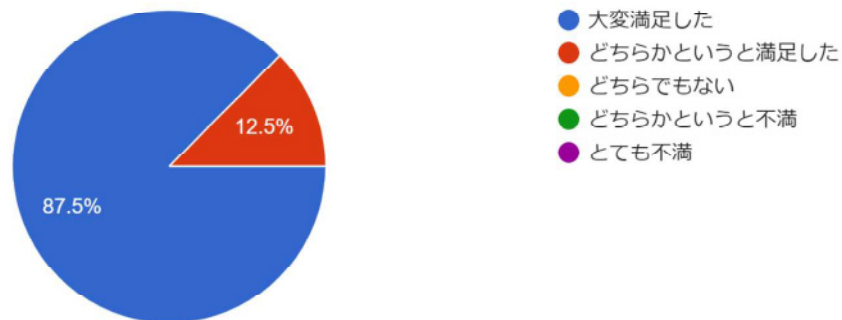
## 【質問項目】

1. 今日のワークショップの満足度を教えてください。
2. 上記1で回答した理由を教えてください。
3. 今回のワークショップを通じて、あなたが気づいた「西区の良さ」について教えてください。特  
にない場合は「特になし」と記入してください。
4. ワークショップについて、企画者からの事前の情報提供は十分でしたか？
5. 今回のワークショップの課題や改善点があれば、是非ご意見をお願いします。  
例：質問が答えにくい、もっと話しやすい雰囲気が欲しい等

## ワークショップの満足度について（質問項目 1, 2）

1. 今日のワークショップの満足度を教えてください。

8件の回答



### 【満足度評価の理由】

- 西区の良さを人に話すことで、より実感できたため。
- 住んでいる場所により愛着が湧いた
- 西区に2年半もいながら良さについて考えたことはなかったので、そのきっかけとして大変良い経験ができたから。
- 社会人の方とフラットに近い形で話せた
- 授業のような固い場では話せないようなことも話すことができた。
- 西区に注目したり、人やことや日常的なことを話したりすることもないので新鮮な体験
- 自分と同じ世代だけでなく、違う目線をもつ人の話はとても興味が湧いた
- 自分が知らない西区の見方や魅力を知り、たくさんのすてきな人とお話しすることができた

## 今回のワークショップを通じて、あなたが気づいた 「西区の良さ」について（質問項目3）

「人のやさしさ」「温かさ」「つながり」「支えあい」「活動に積極的」  
「面白い店」「家庭的な風景」  
「歴史とのつながり」

No	回答内容
1	人が優しい、面白い店がたくさんある
2	いろいろな世代の方がいて、その繋がりをつくる架け橋として大学生が大きな役割を担えるところ。
3	今現在のつながりは生活している中で少し触れることはありました。しかし、歴史とのつながり（これまでの西区と今の西区のつながり）は意識することがなかったので五十嵐地区で生活されている方のお話を聞いて良かったです。
4	ヒトが本当に温かいこと。
5	人と人とのつながり、支え合い。日々の家庭的な風景。若さ。
6	人の温かさです。お店での人との関わりや身近な場所での人の様子を聞いて、西区の人はとても温かいと感じました。 また、お話を聞いて西区の人は活動に積極的だなと感じました。若い世代である大学生が多いということもあるのかもしれませんが、大人の方もそのような活動にご協力して下さる方が多いなと感じます。
7	学生と大人(社会人)との交流が自然にできること。

# 第1回ワークショップ考察（学生メンバーの振り返り）

## ①達成状況

結果：

- ・ 「参加者が気づいた西区の良さ」を尋ねるアンケートでは、参加者8名中7名が、各々の考える西区の良さを回答していた（回答率100%）

考察：

- ・ 大学生は「西区の良さ」を「人（つながり、支え合い）」「場所（景色・風景、お店）」「歴史（過去との比較）」の3つの観点で捉えていた

## ②取り組みの価値

結果：

- ・ 「学生と社会人との交流機会」「日常生活や地域について語る機会」から満足度を得た参加者が多くみられた

考察：

- ・ 参加者の満足度は高く、大学生にとっては多世代交流の機会が肯定的に評価されていたと考えられる（コロナ禍での対面機会減少の影響もあるかもしれない）

## ③課題と改善点

- ・ ワークショップは主に意見を拡散させる話し合いであり、参加者全員で西区の良さを定める作業がなかった。そのため、「何が西区の良さか」は全体で統一されておらず、各個人の考えで異なるものとなった
- ・ 発見した「西区の良さ」を、参加者各個人へより定着させるには、ワークショップ中にグループや全体で「何が西区の良さか」を揃える作業を設けても良いかもしれない

第2回ワークショップでは、参加者の皆様のお立場での経験や情報を交換・共有し、「西区の支え合いを広げる」ために「できそうなこと」を対話しながらアイデアを検討



## 第2回ワークショップ概要

西区でもっと支え合いを広げるために、“私達にできること”を考えよう！

ゴール（目標）：西区の強みを持ち寄って、西区の支え合いを広めるためのアクションを考える

【ルール(ゴールを達成させるためのアイディアの考え方)】

- ▶実現が難しくても、ワクワクするアイディア
- ▶自分達の経験や取り組みに基づくアイディア
- ▶西区の強みや手段となる資源を組み合わせたアイディア

開催日時：2021年11月17日（水）13時～14時30分

参加者：14名

大学生6名（1年生1名，2年生1名，3年生4名），企画学生3名

地域でご活躍の方2名，西区役所地域課1名

新潟ろうきん新潟西支店2名

（オブザーバー名4名）

広報・メディア：

- ・テレビ新潟（TeNY）2021年11月18日（木）昼ニュース
- ・新潟市西区役所だより（2021年12月19日（日））



## 第2回ワークショップの様子



- ・ イントロ（アイスブレイク，自己紹介）
- ・ 趣旨説明（目的，ゴール）



- ・ 良いところ発見！アイスブレイク（自己紹介）
- “4マス自己紹介ゲーム”を行い、名前/所属/好きな物や趣味/強みを紹介する
- ① 自己紹介
  - ② 所属
  - ③ 西区での思い出
  - ④ レア体験

## 第2回ワークショップの様子



### 西区でやりたい、こんなコト

- アイディアシートの作成（個人）
- アイディアシートの共有  
（ペア→グループ）



- アイディアシートの全体共有  
→コメントを付箋に貼り付ける
- 参加者から感想コメント  
→学外関係者から



- クロージング，参加者での集合写真撮影
- 事後アンケート依頼

## アイデアシート

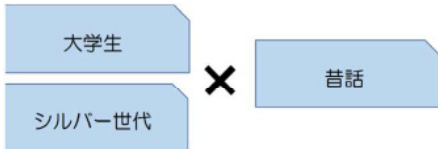
西区でやりたい、こんなこと

強み/手段

メモ

Why

### 【記入例】



それぞれのご立場やご経験、参加者の意見を踏まえたアイデアを記入してください（例：大学生が地域の方から昔話を聞く交流会を開く）

【参考：ゴール】

西区の強みを持ち寄って、西区の支え合いを広めるためのアクションを考える

アイデアの背後にあるニーズや課題感（個人的に感じている課題感や素朴な困り感）を記入してください

例：地域の方と交流したい！、西区の歴史を聞き面白かった

**アイデアシート**  
氏名 ( )

西区でやりたい、こんなこと  
**西区民みんなでサークル活動!**

**強み/手段**

- 大学施設
- 多世代が共存
- 趣味

**メモ** (参加者の意見を聞いてから書く)

- ・子どもがここで遊ばせたい。
- ・あいつつおとなの生活に身近なことから
- 小さなことから広げる。
- ・大学がある。てあすらしい
- ↳ 大学に人呼びこむ。

**Why**

- ・異世代の交流が少ない
- ・大学生しか喋ってこない。

**大学は大学生以外も使えるのですか?**

**アイデアシート**  
氏名 ( )

西区でやりたい、こんなこと  
決起 de アート。  
小・中学生がアートを持てよって決起して作品展示する  
高校生や大学生は別の見聞がアートを地域の活性化に結びつけてほしい!

**強み/手段**

- 小・中学生
- 高校生
- 大学生
- 海・決起
- アート

**Why**

- 子供たちにもと自分、いいよ、どうかな? 聞きたい!!

**メモ**

- 決起の地区 子供い呼ぶのと親世代!
- 西区で「成功体験」を作るといふ考えよて新しいです!

No	西区でやりたいこと	強み1	強み2	強み3	強み4	強み5	Why（ニーズや課題）
1	西区民全員集合 大運動会 inコスポ	コスポ	大学生	子ども	シルバー世代		<ul style="list-style-type: none"> <li>学生と地域の交流を生みたい</li> <li>学生同士の交流を生みたい</li> <li>地域内の交流を生みたい</li> <li>疲れたら、内野のお店で慰労会</li> </ul>
2	西区でプラタモリ	新川・砂丘急坂		変な天気	いきどまり		<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく学ぶ</li> </ul>
3	大学生×地域住民でみんなの地域自慢大会	大学生	地域住民	地域の魅力			県外出身なので、長く西区に住んでいる人から西区の魅力を聞いてみたいし、自分の地元の魅力も知ってもらいたい！
4	地域の魅力をもっと知りたい（いろいろなお店、スポットを知りたい）	大学生	地域のお店				
5	坂道を楽に登りたい（歩いて、車で）	小型電気自動車	アシスト付きoo	大学生（大学）	高校生		
6	各世代が他の世代に西区の観光資源やいい場所を教えあう。実際に行ってみる！	働く世代	大学生	シルバー世代	子ども	観光	西区の観光地あまり知らない...？ 世代によって好きな場所が違うかも！
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>西区一斉あいさつ運動（区長も一緒に！）</li> <li>舞台フォーラム</li> </ul>	優しい（区民は）	文化・教養	住む人々（若者、子供、親子、シルバー）			小・中学校では実施しているが、西区一斉だったらすごい！（あいさつ運動）
8	子どもとシルバー世代の方が交流する場を増やしたい。各々の強み・得意を教えあう場	子ども	シルバー世代	昔ながらの知恵	タブレット・スマホ		タブレットが学校で導入された途端、どんどん吸収する子どもたち。共働きが増えて子どもの見守る人手が必要な今、大人から教わるのみではなく、子どもも子どもの得意が役立つ喜びを...
9	幅広い年代の方が交流できるイベントを開催したい	大学生	公民館（公共施設）	芸術	伝統	運動	以前参加してとてもよいと思ったから
10	西区個人技100（ワンハンドレッド）！スポーツでも勉強でも、アートでも趣味でも ※大学生サポートできればなおよし、プロが関わればなおよし	子ども（中学まで）	家族	できること	夢？		
11	西区民みんなでサークル活動！	大学施設	多世代が共存	趣味			異世代の交流が少ない 大学生しか大学使わない
12	波辺 de アート 小・中学生がアイデアを持ちよって浜辺に造形作品をつくる。高校生や大学生はその実現に向けてサポート。地域の活性化につながることで「できた！」を感じてもらう	小・中学生	高校生・大学生	海・浜辺	「できた！」「自分っていいな！」	アート	子ども達にもっと「自分っていいな」という感情を届けたい!!

## 第2回ワークショップ満足度調査概要

調査対象者	第2回ワークショップ参加者 11名
調査方法	Web方式
調査期間	2021年11月14日~11月20日
調査内容	報告書に記載
サンプル数	8 (回収率 : 73%)

### 【質問項目】

1. 今日のワークショップの満足度を教えてください。
2. 上記1で回答した理由を教えてください。
3. 今回のワークショップを通じて、あなたが共感したアイデアやあなたが実現したいと思ったアイデアを記入してください。複数のアイデアを記入いただいても構いませんし、ワークショップ後に思いついたアイデアでも構いません。特に思いつかない場合は「特になし」と記入してください。
4. ワークショップについて、企画者からの事前の情報提供は十分でしたか？
5. 今回のワークショップの課題や改善点があれば、是非ご意見をお願いします。

## ワークショップの満足度について（質問項目 1, 2）

「とても満足」 100%（「とても満足」～「とても不満」の5段階で回答）

＜満足度評価の理由＞

- ✓ 異世代の人と活発に話し合うことで、新たな視点を得ることができた
- ✓ 発言しやすい雰囲気だった
- ✓ いろいろな意見を聞けて大変有意義でした。様々な視点でみると実現できる気がしてきました!!とても楽しい時間でした。
- ✓ 様々な視点を持つ人の意見が聞けたから。
- ✓ 自分の考えに対する意見をいただけたとともに、いろいろな属性の方々と意見交換できたのがとても刺激になったし楽しかったから。
- ✓ 様々な視点の意見が聞けたこと。西区の魅力、資源である方々に出会えたこと。
- ✓ 西区内でそれぞれ違う分野で活躍されている方々と話すことが出来て楽しかったから。

多世代交流（属性）

様々な視点, 新しい視点

## ワークショップを通じてあなたが共感したアイデアやあなたが実現したいと思ったアイデア（質問項目3）

### あいさつ運動

- 1
- ・西区民みんなで挨拶運動：地域の人と関わっていこうとする意識を、まずは小さな取り組みから始めていくという観点からとても良いと感じた。
  - ・西区一斉あいさつ運動です！
  - ・挨拶運動の実施

### シルバー世代と子どもの学びあい

- 2
- ・高齢者と子どもがお互いに教え合える場をつくる
  - ・子ども×お年寄りで、子どもがタブレットの使い方を教えるというのがとても面白く実現したいと思いました。
  - ・「子供たちとお年寄りの方が何かを教えあう」という活動のアイデアが素敵で、ぜひ実現できたらいいと思いました。

### 大学の施設利用

- 3
- ・大学施設利用をすること
  - ・大学に地域の人を呼び込む：大学の学祭など地域に開かれたものでも、「広報の回覧板が回ってくるが、実際足を踏み入れるのは勇気がいる」というように大学という地域の貴重な資源を大学生しか使えない雰囲気にあると感じた

### 地元の魅力共有（大学生×区民）

- 4
- ・地元の魅力の共有
  - ・大学生×地域住民で地域の自慢大会をするというのも、外を知ることによって内の魅力を知るという要素も入っていていいなと思いました。

### その他

- 5
- ・浜辺で小中高生・大学生が協力してアート作品をつくる、西区で舞台芸術を楽しめるようにする、町の運動会



## 第2回ワークショップ考察（学生メンバーの振り返り）

### ①達成状況

※第2回ワークショップの目的が不明瞭なまま企画が進行したため、ワークショップで狙った達成状況について深く考察することができなかった

### ②取り組みの価値

結果：

- ・ 「共感したアイデアや実現したいと思ったアイデア」を尋ねるアンケートでは、回答者8名中7名が1つ以上のアイデアを答えていた(回答率73%:11名中8人)
- ・ 活用したい資源に「大学生」と記載している人が多かった。また、「大学施設」を資源として記載したアイデアシートに対して、大学施設の使用の可否について関心を持つ人が多かった
- ・ 西区に多く存在する「坂道」について、解決したい課題だと捉える人や活かしたい魅力だと捉える人がおり、立場や属性による視点の違いが共有された
- ・ 立場や年齢など属性の異なる人との「多世代交流」や、交流から得られる「様々な視点」から満足度を得た参加者が多くみられた

考察：

- ・ 参加者の満足度は全体として高い。これは考えを共有する趣旨の会であったため、属性が異なる人と話すからこそ得られる気づきが肯定的に評価されていたと考えられる
- ・ 社会人の参加者は、自らの活動に取り入れられるような、他の参加者の視点やアイデアに対する満足度が高い傾向があった。また、大学生の参加者は、社会人との交流機会や違う視点からの刺激に対する満足度が高い傾向にあった

### ③課題と改善点

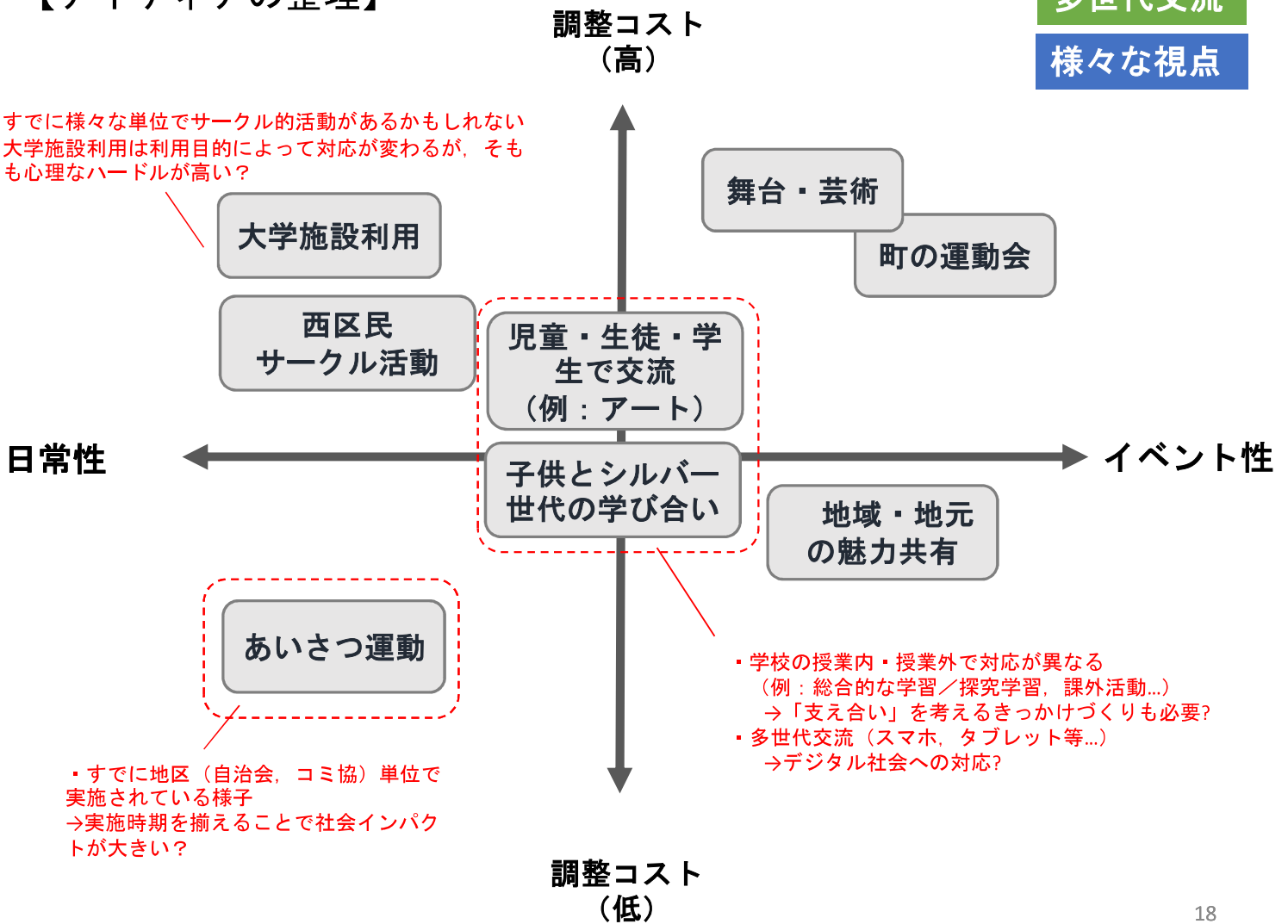
- ・ 活発な話し合いにするため、学外活動やサークル活動などで独自で西区地域に対する取り組みを行っている大学生参加者を誘った。そのため元から地域活動への関心が強く、地域の良さを感じる機会が多い属性の人達による話し合いとなった
- ・ 今後の取り組みで、地域活動に関心がない学生を今後の取り組みに巻き込みたい場合は、今後の課題となる

## 【アイデアの整理】

多世代交流

様々な視点

- ・すでに様々な単位でサークル的活動があるかもしれない
- ・大学施設利用は利用目的によって対応が変わるが、そもそも心理なハードルが高い？



# 情報発信と今後の方向性

## 【報告・情報発信・メディア等】

1. 研究室インスタグラム ([https://www.instagram.com/sawabe\\_lab/](https://www.instagram.com/sawabe_lab/)) でのプロジェクト報告 (6月, 10月, 11月)
2. テレビ新潟 (TeNY) 2021年11月18日(木)昼ニュース
3. 西区自治協議会第2部会にてワークショップ報告 (2021年12月6日(月))
4. 新潟市西区役所だより (2021年12月19日(日))  
[https://www.city.niigata.lg.jp/nishi/kohoshi/pr/r03/nishi\\_1219/nishi\\_353\\_2.html](https://www.city.niigata.lg.jp/nishi/kohoshi/pr/r03/nishi_1219/nishi_353_2.html)

## 【今後の方向性】

2回のワークショップや、これまでの関係者との協議を踏まえて、実現可能な取組みを検討する。「多世代交流」と「支え合い」をキーワードに、新潟ろうきん新潟西支店様はじめ関係する皆様と協働・連携してアクションプランを設定し、取組みを実行していく予定。

# Special Thanks

本プロジェクトに関わってくださった  
すべての皆様に感謝申し上げます。

新潟ろうきん新潟西支店

高橋 理 様, 金子 元彦 様, 月橋 義和 様, 大橋 一輝 様  
乙川 聖哉 様 (新潟ろうきん本店)

株式会社 フジ・クリエイティブセンター

福沢 栄樹 様

西区自治協議会第2部会, 子育て応援サポートセンター うん・まんま

五十嵐 加代子様

ゆめのき学園

羽賀 万起子 様

新潟市西区役所地域課

伊藤 早苗 様

ワークショップにご参加くださった学生の皆様